

「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく  
令和5年度の取り組み

## 目 次

総論	1
重点分野 1 未来の健康をつくる生活習慣病予防	1
重点分野 2 気づく、つながる、支える心の健康づくり	4
重点分野 3 健康な心と身体を支える食生活	5
重点分野 4 生きる力を支える歯と口の健康づくり	7
重点分野 5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進	8
重点分野 6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防	9
重点分野を支える社会環境の改善・整備	11

「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」（以下、「後期計画」という。）では、計画推進の柱として6つの重点分野を位置付け市民の健康づくりに取り組んでいる。

また、健康づくりに取り組みやすい環境を整えるため、「重点分野を支える社会環境の改善・整備」の観点から、他局との連携強化や健康寿命延伸に関する産業界との連携等により、取り組みの推進を図っている。



本年度は、後期計画が最終年度であり、昨年度作成した重点分野毎の指標の達成状況や取り組みの評価などを取りまとめた「第2期いきいき市民健康プラン最終評価報告書(令和5年3月)」を踏まえ、次期プランである「仙台市いきいき市民健康プラン(第3期)」の策定を進めている。

## 重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

生涯にわたり市民が自ら健康づくりに取り組むために様々な啓発を行うとともに、関係機関等との連携による健康づくりの環境整備を推進。また、生活習慣病の早期発見を目的に、市民健康診査等の事業を展開し、合併症の予防や重症化を防ぐために、未受診者への受診勧奨と必要な保健指導を行っている。

### 1. 生活習慣病予防の周知・啓発

#### (1) 健康増進普及月間における啓発

国の実施要綱に合わせ9月を健康増進普及月間とし、健康づくりに関する情報のパネル展や健康づくり講座、宅配講座等を通してより一層の啓発を実施。

#### (2) 学齢期の健康的な生活習慣形成の推進

生活習慣が形成される学齢期に、子ども達が健康的な生活習慣を身につけることが出来るよう、学校保健委員会等で子どもの健康課題の共有と解決方法を検討するなど、各学校と連携した取り組みを実施。

### 2. 健診受診率の向上を図るための啓発

#### (1) 健診受診率向上に向けた啓発と環境整備

調剤薬局への市民健診申込案内設置の依頼や、がん検診受診率向上企業連携協定企業との取り組みを通して、市民健診の周知啓発を図っている。また、電子申請による申し込みの周知も強化し、ポスターや各種案内によりスマートフォンからの申し込みが可能であることを広く周知したところ、電子申請を利用した申し込みが昨年度より増加。

・電子申請による申し込み：24,437件 → 26,212件(1,775件増加)

◆各種健康診査の実施状況

<市民健康診査及び国保特定健康診査>

健診の種類	対象者	令和5年11月末現在	令和4年度末現在		令和3年度末現在	
		受診者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率
基礎健診	・35～39歳 ・35歳以上の 生活保護受給者 ・75歳以上	40,325人	44,823人	21.1%	41,413人	19.7%
国保特定健診	40～74歳の 国保加入者	45,984人	60,540人	42.2%	62,212人	42.7%
胃がん検診	35歳以上	22,493人	39,312人	9.0%	41,225人	9.1%
大腸がん検診	40歳以上	63,817人	74,286人	11.8%	76,261人	12.2%
肺がん・結核健診	40歳以上	67,813人	69,027人	10.9%	70,045人	11.2%
乳がん検診	・30～39歳(超音波)	2,124人	4,146人	6.1%	4,795人	6.9%
	・40～69歳 (マンモグラフィ・視触診併用)	17,248人	20,724人	20.1%	22,907人	20.3%
	・70歳以上 (マンモグラフィのみ)	10,150人	11,538人	19.6%	11,518人	18.9%
子宮頸がん検診	20歳以上	26,349人	39,094人	15.7%	37,101人	16.1%
前立腺がん検診	50、55、60、65歳	989人	1,049人	3.9%	1,116人	4.1%
骨粗しょう症検診	40、50歳	2,384人	2,875人	17.8%	2,722人	16.9%
歯周病検診	30、40、50、 60、70歳	(※)	6,559人	9.3%	6,256人	8.9%

(※) 歯周病検診の集計は年度末に一括して行うため、令和5年11月末現在での受診者数及び受診率は未集計。

<新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業>

下記の対象者に対し、乳がん検診と子宮頸がん検診の検診費用が無料となるクーポン券と検診手帳を送付し、がん検診の受診促進とがんの早期発見の啓発を実施(国補助事業)。

また、子宮頸がん検診クーポン対象者及び40歳の乳がん検診クーポン対象者のうち、未受診者に対して、はがきによる受診勧奨を実施。(令和5年10月実施 10,796人)

検診名	対象者	対象者数	受診者数(受診率) 令和5年11月末現在
子宮頸がん検診	20歳の女性	5,709人	283人(5.0%)
乳がん検診	40歳の女性	6,640人	412人(6.2%)

(2) ピンクリボン啓発

がん検診の受診率向上や正しい知識の普及のために、ピンクリボン仙台推進委員会主催による啓発事業を実施。

- ・ベガルタ仙台のホームゲームに合わせてピンクリボン月間キックオフイベントを開催
- ・「もっと知ろうよ 乳がんのこと」をテーマにトークイベントを開催(参加者数約60名)

### 3. 健診結果でリスクのある人への重症化予防の取り組み

#### (1) 保健指導

仙台市国民健康保険特定健康診査及び仙台市基礎健康診査受診者のうち血圧・血糖（HbA1c）等の要医療判定で医療機関未受診の方へ受診勧奨と保健指導を行っている。

- ・受診勧奨数 2,074 人（令和 5 年 11 月末現在）

#### (2) CKD（慢性腎臓病）病診連携モデル事業

慢性腎臓病の重症化予防対策として、令和 4 年度より、かかりつけ医と腎臓専門医の病診連携を、若林区、太白区を対象にモデル事業として実施している。医師会、かかりつけ医、腎臓専門医をメンバーとしたプロジェクト会議を開催し、令和 6 年度から全市展開を予定している。

### 4. 歩きやすい、運動しやすい環境づくり

#### (1) ウォーキングイベントの開催と健康づくりに関する特設ウェブサイトの開設

市民の歩数アップや歩くことの定着化を図ることを目的に、「アルークワーク仙台」として、仕事（ワーク）や暮らしの合間に楽しみながら歩く（アルーク）ことを促す取り組みとして、ウォーキングイベントの開催、健康づくりに関する特設サイトを開設し周知した。

目標歩数を達成したチームにデジタルギフトを付与することで、運動に関心がない人も参加したくなるような仕掛けを設けた。また、歩数を可視化し、自身の健康管理の意識の向上を図った。

特設ウェブサイトでは、市内ウォーキングコースや関係機関団体のイベントなどを紹介し、市民が日常生活の中で様々な視点から歩く時間を増やしたり、身体を動かすきっかけを増やせるような情報や、健康づくり全般に関する情報についても発信している。

- ・ウォーキングイベント参加者数：170 人（実人数）

#### (2) まちなか歩数表示補助事業

歩きやすい環境の整備を目的に、散策コースや商店街に歩数表示の設置及び設置場所の周知を行う団体に対して補助金を交付。

- ・交付団体 4 件

（青葉山・八木山フットパスの会、八木山まちづくりプロジェクト、原町地区連合町内会、貞山運河倶楽部）

#### (3) ウォーキングイベント補助事業

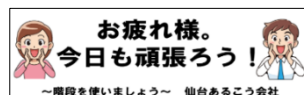
ウォーキングイベントを通して、市民の歩くきっかけづくりを促すことを目的に、ウォーキングイベントを開催する団体に対して補助金を交付。

- ・交付団体 3 件

（みちのくノルディックウォーキングネットワーク、八木山まちづくりプロジェクト、下町町内会）

#### (4) 階段利用促進メッセージの掲示

来庁者や市職員の運動に関する意識を高めるため、庁舎の階段に、階段利用促進のメッセージを表示。また、事業所等の階段にも掲示できるよう、市ホームページに表示のデータを掲載している。



(5) 身体活動量増加に向けた啓発動画の配信

働き盛り世代をメインターゲットに、会議前や休憩時間等のスキマ時間を有効活用した運動の動画を2種類作成し、せんだいTubeで公開している。

## 重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

悩みや不安を解消するための心の健康に関する啓発の強化、教育機関への心の健康づくりの教育や事業所等のメンタルヘルス向上を推進している。また、被災者の心の健康問題は、新たな環境で生活再建を果たした後も続いていることから、被災者の高齢化が進む状況を踏まえ、引き続き孤立防止や心の健康問題等に対して長期的な視野で支援を継続する。

### 1. 地域の相談窓口の周知・啓発

(1) 心の健康づくりの啓発

市民等に対し、区役所・総合支所関係課や関係団体窓口における啓発物の配布、市政だより掲載等による啓発を実施。また、市民がそれぞれの悩みに応じた相談先を探すことが出来るよう、相談機関情報(仙台市ホームページ)に繋がるQRコードを入れたグッズを作成し、相談窓口の利用に繋げる。

(2) こころの体温計

パソコンやスマートフォンから仙台市ホームページにアクセスし利用できるセルフメンタルチェックシステムにより、自身の心の状態や睡眠状態をチェックできるサービスを提供。悩みを抱える人が相談機関利用に繋がるように、チェック結果の画面から各種相談機関の情報も確認することができる。



(3) ゲートキーパー養成研修

心の健康づくりを推進のため、地域の関係団体や職域等と連携し、ゲートキーパー養成研修を実施。

- ・開催回数：7回 参加者：延べ210人(令和5年11月末現在)

(4) 「生活困りごとと、こころの健康相談」の開催

(定例月1回・キャンペーン相談会年2回)

弁護士・司法書士による生活の困りごとに関する相談とあわせて、精神科医師・保健師・臨床心理士・精神保健福祉士等による心の健康に関する相談を実施。

- ・定例相談会：7回(22件)、キャンペーン相談会：1回(7件)(令和5年11月末現在)

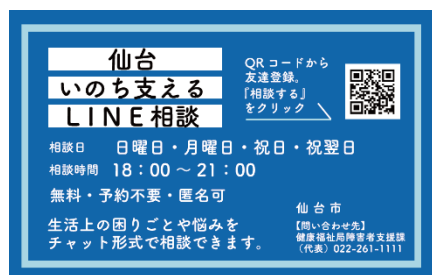
(5) 「無料法律相談とこころの健康相談会」の開催(月1回・土曜日開催)

弁護士による法律相談とカウンセラーによる心の相談を一体的に実施。

- ・相談件数：117件(法律相談：85件 心の相談：32件)(令和5年11月末現在)

(6) 「仙台いのち支えるLINE相談／暮らし支える総合相談」の実施

- ・ 仙台いのち支えるLINE相談  
相談延べ件数：453件（令和5年11月末現在）
- ・ 暮らし支える総合相談  
相談延べ件数：87件（令和5年11月末現在）



## 2. 震災後のこころのケアに関する啓発と被災者支援

### (1) 復興公営住宅入居者等への支援

各区保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において、復興公営住宅入居者等への訪問や面接・電話などによる個別支援を継続して実施。また、郵送による健康調査を通して健康や生活の状況を把握し、必要に応じて支援を行っている。

### (2) コミュニティ形成支援を通じた心のケア

自治組織や関係機関・団体と連携し、健康相談会や健康教室、サロン等のコミュニティ形成支援を通じた心のケアに関する取り組みを実施。

- ・ 開催回数：108回 延べ参加人数：1,186人（令和5年11月末現在）

## 重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

平成30年3月に策定した「仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画」と連動し、乳幼児からの基本的な食習慣の形成と青年期の食生活改善への意識を高めるための働きかけ、高齢者の低栄養予防に関する知識の普及と実践支援に取り組んでいる。

### 1. 生活習慣病予防のための食生活の啓発

#### (1) Facebook 及び Instagram による啓発

食と健康をテーマとした健康政策課のフェイスブックおよびインスタグラム「伊達なキッチン-だてきち」を活用した情報発信を実施。

週1回の投稿により、健康的な食生活についてのコラムのほか、手軽にできる野菜たっぷりレシピや朝食レシピなどを写真付きで掲載している。



Instagram

## (2) 健康お役立ちレシピコンテスト

市民が主体となる健康的な食習慣づくりを推進することを目的として、令和2年度より健康お役立ちレシピコンテストを実施。本年度は、「簡単！1品でバランスはなまるレシピ」

として1品で栄養バランスが整うレシピを募集した。

(募集期間：1月末まで 審査：2月末(予定))

今回は、Instagramを活用して実施。



## (3) 食育月間関連事業(令和5年6～7月)

①区役所、総合支所庁舎内を会場に、パネル・ポスター展示、レシピ等を配布。

②児童館・子育て支援センター、市民センター、図書館等と連携し、食育に関する情報の展示やポスターの展示、資料の配布等を実施。

③市政だより、庁内放送、庁内ディスプレイ等を活用し周知。

④その他、期間中に各種母子保健事業、健康増進事業で啓発資料を配布。

## 2. 青年期における健康的な食生活の重要性と改善への啓発強化

### (1) 大学・専門学校等と連携した若い世代への啓発

①大学保健福祉センターにおいて、おやつレシピコンテストの実施や啓発媒体の作成など、大学や専門学校と連携し、若い世代へ対する健康的な食習慣の啓発を実施。

②学生が自らのアイデアでより多くの若者に食の大切さを浸透させ、食育の関心を高める取り組みを行う「大学生の食育プロジェクト」を実施。本年度は、Instagramを活用したレシピコンテストへの参加と、SNSを活用した情報発信について検討している。

## 3. 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識普及と実践への啓発

保健福祉センター・総合支所において、フレイル予防の食生活についての資料を活用し、高齢者向け健康教育・健康相談や介護予防運動サポーター研修で配布するとともに、低栄養についての講話及び個別相談を実施。

- ・介護予防栄養講座：10回 延べ115人参加
- ・高齢者向け地域健康教育：5回 延べ163人参加
- ・介護予防運動サポーター研修会での栄養講話：10回 185人参加
- ・電話や来所等による相談 122件

(令和5年11月末現在)

## 4. 食生活改善の実践のための環境整備

食で健康サポート店(栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコメニューを提供する店)の募集、登録事業を実施。

- ・参加店舗数：81店舗(令和5年11月末現在)

【栄養成分表示78店舗、バランスメニュー4店舗、野菜たっぷりメニュー11店舗、塩エコメニュー3店舗】



## 重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

「歯と口の健康づくり後期計画」及び「アクションプラン」のメインターゲットに掲げている「乳幼児期」「学齢期」「青年期」の取り組みを優先的・重点的に推進。

乳歯萌出時期からのむし歯予防対策として「フッ化物歯面塗布助成事業」の受診勧奨を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で見合わせていた歯科保健教育や保健指導等の実施の支援や、大学生等を対象とした歯周病予防対策のための体制づくりを推進している。

### 1. 乳歯萌出期からのむし歯予防対策「フッ化物歯面塗布助成事業」の啓発と事業周知の強化

小児科・歯科・行政等の連携により実施している「フッ化物歯面塗布助成事業（令和3年度開始）」の受診率向上と定着を図るため、「子育てマイプラン」や「せんだいのびすくナビ」によるプッシュ通知を活用した受診勧奨を行うとともに、小規模保育所や児童館等を通じて「仙台市の乳幼児の歯と口の健康づくり事業」等の啓発媒体を配布し、保護者のむし歯予防に係る取り組みを支援している。

- ・「せんだいのびすくナビ」登録件数  
12,309件（R5年11月末現在）



### 2. 幼児期後半から学齢期の歯と口の健康づくりの環境整備の推進

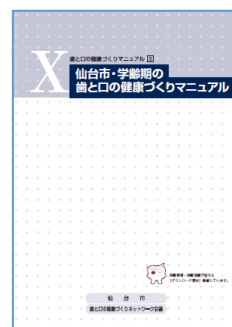
#### (1) 保育所・幼稚園、小中高等学校への支援

①保育所・幼稚園等で実施する歯科健診結果を集計し、統計情報を還元するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響でフッ化物洗口の実施を中断していた施設に再開に向けた情報提供や実践支援を実施。

- ・保育所、幼稚園等歯科健康診査集約事業参加施設：316件

②養護教諭を対象としたスキルアップ研修会を開催し、「学齢期の歯と口の健康づくりマニュアル」やダウンロード用媒体の活用を促進し、学校における健康教育や保健指導の充実を図った。

- ・参加者数：48名（小学校27名、中学校19名、高校2名）



### 3. 大学生による「ハローフロスプロジェクト」の推進

デンタルフロスによる歯周病予防のセルフケアを拡げる「ハローフロスプロジェクト」の推進に向け、大学生等を対象とした歯や口の健康に関する意識や行動に関する調査を行うとともに、令和6年度からの啓発活動に向け、リーフレット「目指せ！イケてる口元」を作成中。

### 4. 「仙台市・歯と口の健康づくり計画（第3期）」及びアクションプランの策定

次期「仙台市いきいき市民健康プラン（第3期）」を推し進める個別計画として、次年度より開始予定の「仙台市・歯と口の健康づくり計画（第3期）」及びアクションプランの策定を進めている。

## 重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

たばこによる健康影響から市民を守り、健康で快適に過ごすことのできる「受動喫煙のない社会」の実現のため、受動喫煙防止の環境づくりや喫煙率の減少・次世代の健康の確保に向けた取り組みを進めている。

### 1. たばこが及ぼす健康影響についての啓発

世界禁煙デー（令和5年5月31日）を中心に、各学校（幼稚園、小中高等学校、専門学校、大学）及び児童館と連携し、情報提供や喫煙防止教育を実施。

・参加団体数：8団体 参加人数：358人（令和5年11月末現在）

### 2. 妊産婦や家族に対する喫煙が及ぼす健康影響や再喫煙防止についての啓発と保健指導

#### (1) 妊産婦や家族に対する啓発

①母子健康手帳交付時に、受動喫煙についてのチラシを配布し、啓発を実施。

・配布枚数：4,534枚（令和5年11月末現在）

②新生児訪問等の機会に、保護者自身の健康影響と子どもへの受動喫煙に関して情報提供し、再喫煙防止について啓発や情報提供を実施。

### 3. たばこをやめたい人への禁煙支援

#### (1) 禁煙支援について周知・啓発及び禁煙支援の実施

①たばこをやめたい人への禁煙支援を各区保健福祉センター及び各総合支所で実施。

・支援者数：25人 禁煙成功者：6人 継続支援者：10人（令和5年11月末現在）

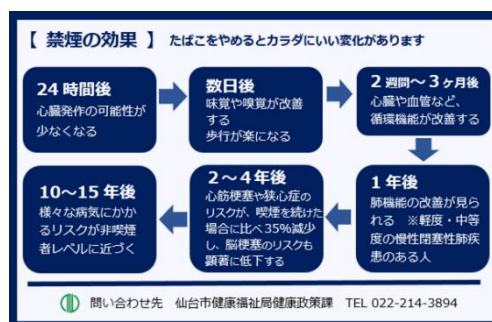
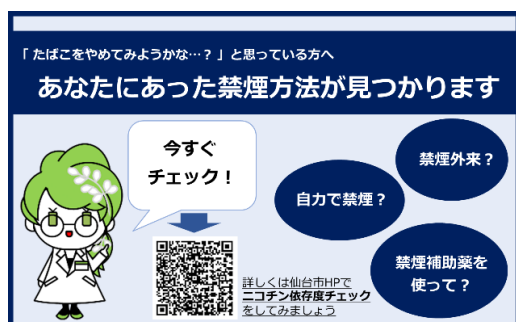
②世界禁煙デーや健康増進普及月間等の関連行事において、禁煙支援（禁煙方法、禁煙支援を実施する医療機関・薬局等）に関して情報提供。

③仙台市ホームページにニコチン依存度に応じた禁煙方法を具体的に掲載。また、基礎健診・特定健診受診者に配布する情報提供チラシに、仙台市ホームページに掲載の禁煙支援ページに繋がるQRコードを掲載。

#### (2) 禁煙支援に関する環境整備

①禁煙啓発カードの作成

②情報提供チラシへのQRコード掲載



#### 4. 受動喫煙防止対策のさらなる推進

- (1) 「仙台市受動喫煙防止対策ガイドライン」に基づく対策の推進、受動喫煙の健康影響・慢性閉塞性肺疾患（COPD）についての周知・啓発
- ①健康増進法の改正に伴い、令和元年6月に改訂した「仙台市受動喫煙防止対策ガイドライン」を周知。
  - ②世界禁煙デー（令和5年5月31日）関連事業として、市立施設・医療機関・教育施設・飲食店・旅館等へのポスター掲示や、区保健福祉センターで禁煙相談会を開催。
- (2) 事業所に向けた受動喫煙防止対策の啓発
- ①宮城県、全国健康保険協会宮城支部と連携し、お客様や従業員の健康に配慮し、施設・事業所の敷地内または建物内の禁煙に取り組んでいる施設や事業所を「受動喫煙防止宣言施設」として登録。
    - ・登録施設数：1,301件　うち仙台市所在の施設は707件（令和5年11月末現在）
  - ②改正健康増進法により事業所等の義務となった受動喫煙防止対策及び「受動喫煙防止宣言施設」のチラシを製作し、飲食店に個別送付。
    - ・送付件数：462件
  - ③肺がん・結核健診の喀痰細胞診対象者（喫煙者）に対し、受動喫煙防止対策及び禁煙支援に関する啓発カードを配布。

### 重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

感染症の蔓延や重症化を防止するため、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、定期予防接種の接種勧奨に取り組んでいる。また、エイズや性感染症、ウイルス性肝炎については無料検査を実施し早期発見に努めている。先天性風しん症候群の発生を防止するため、これまで風しんに係る公的な予防接種を受ける機会のなかった世代の成人男性へ抗体検査・予防接種を、また、妊娠を希望する女性等へ風しん抗体検査を無料で実施している。

#### 1. 感染症に関する正しい知識の普及・啓発とタイムリーな感染症流行情報の提供

- (1) 感染症流行情報の提供
- 最新の感染症の流行状況等やその対応方法についてホームページ、メール等を通じて市民および仙台市医師会、東北大学や関係医療機関などと情報を共有。
- (2) 仙台市感染症予防計画の策定
- 仙台市感染症対策協議会にて、仙台市医師会や東北大学、関係医療機関等と仙台市感染症予防計画策定に向けて、中間案などについて協議している。
- (3) 高齢者施設等における感染症対策の啓発
- 高齢者施設等を対象に、施設の感染対策の徹底を目的としたオンラインセミナー「高齢者施設等における新型コロナ等の感染対策について」を開催。講師は仙台市感染制御地域支援チームの委員に依頼し、施設の主管課と連携して開催を企画した。

(4) 東北大学及び仙台市医師会と連携した啓発

仙台市医師会と連携してインフルエンザ予防ポスター（咳エチケット、手洗い励行等）を作成し、医療機関、学校及び社会福祉施設等へ配布。

- ・ポスター配布施設：約 1,700 施設（令和 5 年 12 月末現在）

## 2. 予防接種事業

(1) 予防接種の接種勧奨

予防接種について、個別通知やホームページ等により接種勧奨を実施。また、接種スケジュールが複雑化していることから、接種制度について、定期予防接種協力医療機関向けに、市医師会と共催した研修会において説明の上、制度詳細を示した実施計画書を配布する等の対応をした。

市民向けには、新生児訪問の際に個別の説明を行っているほか、出生者に送付する母子健康手帳別冊（乳幼児編）内に接種スケジュールを掲載するなど、わかりやすく周知。

(2) 予防接種費用の助成

子育て支援の観点から、里帰りなどで県外において定期予防接種を受けた者への接種費用を助成。

- ・助成件数：165 件（令和 5 年 11 月末現在）

(3) 予防接種状況の管理

個人ごとの予防接種履歴を把握することで未接種者への効果的な接種勧奨を行うため、平成 29 年 9 月より予防接種台帳システムを稼働。定期接種及び市実施の任意接種の接種履歴について台帳管理を行い、予接種状況等について分析を行っている。

## 3. HIV・性感染症検査体制や相談・カウンセリングの充実

(1) 検査体制の整備

①検査予約の利便性を図るため、電話に加えインターネットでの検査予約を実施。

②各区役所等でHIV・性感染症検査を継続的に実施。

（※新型コロナウイルス感染症対応のため休止していた区役所日中検査を一部再開）

- ・HIV検査：991 件、梅毒検査：991 件、クラミジア検査：153 件

（令和 5 年 11 月末現在）

(2) 市民団体と連携した啓発

市民団体との連携し、スマートフォン・アプリ向けの検査啓発広告を掲載するとともに、インターネットサイト「仙台HIVネット」の運営を継続している。

## 4. 風しん抗体検査

(1) 個別通知やホームページ等による制度の周知

(2) 市民の利便性を高めるための検査体制の充実

## 重点分野を支える社会環境の改善・整備

後期計画では、6つの重点分野における健康づくりを支える柱として、「重点分野を支える社会環境の改善・整備」を位置付けている。健康づくりの環境整備のために、仙台市関係課、健康づくりに取り組む各関係団体・企業・学校関係者等との連携強化により、異業種の垣根を超えて、市民の健康を守る体制づくりの推進を図っている。

### 1. 幅広い業種との連携

#### (1) せんだい健康づくり推進会議の実施

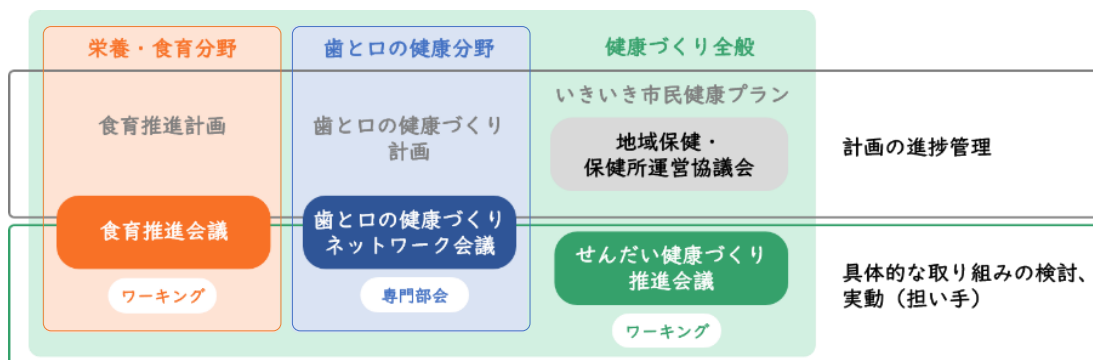
令和元年度、地域保健と職域保健の連携による市民の健康づくり及び学齢期から青年期、壮年期、高齢期に至る継続的な健康づくりを推進することを目的とし、「せんだい健康づくり推進会議」（以下会議）を設置。会議は「働く市民の健康づくりネットワーク会議」を再構成し、職域保健関係・地域保健関係・保健医療関係に加え、仙台市小学校長会と仙台市PTA協議会を構成員としている。

本年度は、「働く世代の健康事情」をテーマに、仙台市民の働き盛り世代の健康状態や課題改善のためのアドバイス等を掲載したリーフレットを作成。様々なイベントや会議構成員、保険者などを通じて発信することにより、働く世代の健康意識の向上を図っている。

あわせて、令和6年度より開始予定の「仙台市いきいき市民健康プラン（第3期）」の推進のために、会議の役割や構成員の所属する団体の活動の共有をするとともに、来年度からの具体的な取り組みについても検討を進めている。



また、市民の課題の1つ活動量低下の改善を目的としたワーキンググループを設置。活動量増加に関連する取り組みを行う企業をメンバーとしている。ワーキングでは、メンバー企業のそれぞれの強みを活かした地域や職域での取り組みを共有するとともに、市民のさらなる活動量増加に向けて、今後の連携した取り組みについてなどの検討を進めている。



(2) 仙台市食育推進会議の実施

仙台市の食育を市民運動として推進するため仙台市食育推進計画を策定し、計画の進捗状況を把握・評価すること目的に、平成18年度に設置。

重点分野3「健康な心と身体を支える食生活」の推進は、仙台市食育推進計画の推進の柱「食を通じた健康づくりを实践しよう」の取り組みと連動するため、食育推進会議を通して健康課題の共有や推進の方策を検討し、構成主体である保育・教育関係者や保健医療関係者、市民等、食育に関わる関係団体が主体的に課題解決の取り組みを進めている。

本年度は、「仙台市食育推進計画〔第2期〕最終評価報告書（令和5年3月）」及び「第4次食育推進基本計画」を踏まえ、令和6年度より開始予定の「仙台市食育推進計画(第3期)」の策定に向けた検討を行っている。



(3) 歯と口の健康づくりネットワーク会議の実施

重点分野4「歯と口の健康づくり」を効果的に推進するため、保健・医療・福祉・教育・職域等の関係団体が、それぞれの立場や領域で市民の歯と口の健康づくり活動を支え、全身の健康増進につなげることを目的に平成15年に設置。

本年度は、専門部会「歯と口の健康づくり計画（第3期）検討部会」を設置し、「歯と口の健康づくり計画最終評価報告書（令和5年3月）」と今後予想される社会環境の変化等も踏まえ、令和6年度より開始予定の「仙台市・歯と口の健康づくり計画（第3期）」及びアクションプラン策定に向けた検討を行っている。



#### (4) Health Tech（ヘルステック）推進事業への参画

ヘルスケア領域の課題に対してテクノロジーで解決を図ると同時に、解決アイデアに基づくヘルスケア産業創出に取り組む企業を支援する、経済局主体の取り組みである。本年度は、事業所と連携し、アプリを活用した食環境整備の取り組みについて検討を進めている。

#### (5) 仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会への参画

大胆な規制改革の推進や先端サービス創出のため、多数の事業者が参画する産学官共同のプロジェクトである。様々な分野においてチャレンジングな取り組みに果敢に挑み、仙台の未来を切り拓くスマートシティのフロンティア（最先端）となることを目指し、東北大学や参画事業者とともに、well-being 向上に資する多様なサービス、さらに市民・若者がチャレンジしやすい土壌の創造に取り組んでいる。本年度は、ウェルネス分科会にて、参画する企業と共に PHR 利活用による健康づくりの基盤構築に向けた検討を進めている。

#### (6) 東北大学 COI-NEXT（共創の場形成支援プログラム）への参画

東北大学をプロジェクトリーダーに、未来のありたい社会像の実現に向けた研究開発を推進し、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す連携プログラムである。本年度は、参画企業と連携して、予防的観点から市民の健康づくりを促進するための取り組みについて、検討を進めている。

## 2. 仙台市関係課との連携強化

「仙台市都市交通プラン」、「仙台市緑の基本計画」、「都市再生整備計画」、「仙台市自転車の安全利活用推進計画」、「仙台市スポーツ推進計画」「データヘルス計画」等の各事業計画において、仙台市の健康づくり分野に関わる施策に対し、本市の健康課題や健康づくりの取り組み等を反映し、仙台市全体の事業としての流れをつくる。なお、各事業計画の更新時には、各事業課の要請により次期計画策定に係る庁内関係会議等に参加している。

### 《各分野における強化すべき社会環境の改善・整備》

#### 重点分野 1：生活習慣病予防

##### (1) 歩きやすい、運動しやすい環境づくり

歩きやすい環境の整備を目的に、歩数アップのための啓発表示に要する事業経費に対して補助金の交付を行い、散策コースや商店街、通学路等に歩数表示の看板を設置。

##### (2) 市民健診の受診率向上のための環境整備

- ①がん検診受診率向上企業連携協定企業をはじめ、関係団体・企業等を通じた、がん検診を含む市民健診の受診勧奨。
- ②みやぎ電子申請システムによる市民健診申し込みの受付。

#### 重点分野 2：心の健康づくり

##### (1) 相談体制の整備

- ①場所や時間を問わずの相談できるインターネット上のツールを用いた相談窓口を設置。
- ②心の健康相談と法律・生活相談を一体的に受ける相談会の定期的な開催。

### 重点分野 3：健康的な食生活

#### (1) SNS等を活用した情報発信

市民が自ら健康的な食生活が実践できるよう、健康づくりに関する情報について、Facebook や Instagram、動画等を用いて情報を発信。

#### (2) 「食で健康サポート店」登録推進事業

栄養成分表示や野菜たっぷりメニューなどを提供する飲食店を「食で健康サポート店」として募集、登録し、健康に配慮した食事選択の参考のため情報提供による健康づくりの支援。

・参加店舗数：81 店舗（令和 5 年 11 月末現在）

【栄養成分表示 78 店舗、バランスメニュー 4 店舗、野菜たっぷりメニュー 11 店舗、塩エコメニュー 3 店舗】

### 重点分野 4：歯と口の健康づくり

#### (1) フッ化物歯面塗布助成事業の一層の推進と定着

乳歯萌出時期からの良好な歯科保健習慣と継続的な予防管理の受診行動の定着に向け、乳幼児を対象に、登録歯科医療機関でフッ化物歯面塗布及び歯科保健指導を 1 回無料で受けられる助成事業の周知を強化。

利用対象：市内在住の乳幼児（生後 8 か月から 1 歳 6 か月を迎える前日まで）

8～9 か月児を対象に行われる乳児健康診査を先に受診し、「☆せんだい☆でんたるノート F」を受け取ってから登録歯科医療機関を受診する。

・登録歯科医療機関（年度当初時点）

令和 3 年度：283 件／令和 4 年度：317 件/令和 5 年度：340 件

・8～9 か月児乳児健康診査登録医療機関

令和 4 年度市内登録医療機関（小児科医等）：64 施設（令和 5 年 11 月末現在）

#### (2) フッ化物洗口を実施する保育所・教育施設の増加・拡大

子供の家庭環境に左右されることなく、全員が一様にむし歯予防に取り組むことができるよう保育・教育施設におけるフッ化物洗口導入・拡大を支援。

学校、PTA、教育委員会、学校歯科医が連携し、市内 2 校の小学校（折立小学校、秋保小学校）で小学校におけるフッ化物洗口パイロット事業（実施主体：（一社）仙台歯科医師会）実施中。

### 重点分野 5：たばこ対策

#### (1) 宮城県・全国健康保険協会宮城支部と連携した受動喫煙防止宣言施設登録制度の周知

①全国健康保険協会宮城支部が加入者に対して、登録を勧めるための周知を実施。

②宮城県が地元新聞に受動喫煙防止宣言施設の登録制度についての啓発広告を掲載。

・登録施設数：1,301 件。うち仙台市所在の施設は 707 件。（令和 5 年 11 月末現在）

### 重点分野 6：感染症予防

#### (1) 感染症検査体制の充実

関係機関・団体と連携して、感染症予防の市民啓発を進めるとともに、感染症にかかる検査体制のさらなる充実を図る。